

愛知県環境基本計画（H14.9 策定）

第1章 策定の趣旨

21世紀初頭における環境保全施策の方角を示す羅針盤とする。

第2章 環境の現況と課題（略）

第3章 環境政策の展開の方角

1【理念】「あいち環境社会（ ）」を形成し未来に引き継ぐこと。
自然界における物質の適正な循環が確保・維持され、自然生態系が健全に保持された恵み豊かな環境の愛知

2【長期的目標】

以下の四つの姿の社会の形成をとおして、「あいち環境社会」の実現を目指す。

- <循環>：物質が循環的に利用されるなど環境負荷の小さな社会
- <共生>：多様な生態系が健全に維持され人と自然の豊かなふれあいが確保された自然と共生する社会
- <安心>：大気、水、土地、生物の恩恵にあずかる県民が安心して生活のできる社会
- <協働>：地球的視野で環境を考え、県民・民間団体、事業者、行政が協働する社会

3【環境政策の方角】

(1) 基本的考え方

行動の価値判断に「環境」を重視
多様な手法を活用した社会経済への環境配慮
各種政策、事業における環境配慮
各主体の自主的取組と連携
広域的な連携

(2) 環境政策の方角

ア 長期的な取組

長期的目標である「循環」、「共生」、「安心」、「協働」の四つの社会の実現に向けた25の施策

イ 短中期的な取組

緊急に対策を講じるべき事項や長期的目標達成のために展開すべき事項とした以下の7分野の施策
大気環境保全対策の推進
資源循環と廃棄物適正処理の推進
地球温暖化・オゾン層保護対策の推進
水循環・地盤環境対策の推進
化学物質に係る環境リスク対策の推進
生物多様性の確保
環境コミュニケーションの推進

4【計画の期間】

長期的な取組：2025年頃
短中期的な取組：2010年度

第4章 環境政策の展開（略）

第5章 計画の推進・管理

「あいち環境づくり推進協議会」（県民・民間団体・事業者・行政で構成）、「愛知県環境対策推進会議」（県庁各部署で構成）による推進

愛知県環境基本計画の点検を踏まえた改定の方角

1 策定の趣旨について

県の環境保全施策の方角を示す羅針盤とすることは踏襲する。

2 環境政策の展開の方角について

【理念】

「あいち環境社会」の理念のもと、これを形成し未来に引き継ぐという基本的な考えは継承する。

【長期的目標】

現計画の掲げる「循環」、「共生」、「安心」、「協働」という四つの姿の社会づくりを踏襲する。

【環境政策の方角】

(1) 基本的考え方

点検を踏まえ、次のような内容を考え方の柱とする。
愛知万博の理念・成果の具現化
環境と経済が好循環する「ものづくり県」の創造
恵み豊かで持続可能な県土、自然の形成
地域社会、家庭、企業活動など社会の隅々への環境配慮の浸透
行政各分野の施策推進における環境重視
県民、事業者、民間団体等の自主的取組の促進と連携
国・隣接県との連携と国際環境協力

(2) 環境政策の方角

- ・現計画の長期的・短中期的の区分は、記述が重複する部分があること等から、統合する。
- ・長期的目標で掲げる四つの姿の社会づくりに向けた戦略的・重点的な施策展開の方角性を示し、交通、エネルギー、街づくりなど地域づくりのあらゆる面に環境の視点を織り込む内容とする。
- ・可能な限り適切な数値目標を掲げ推進する。

(3) 他の計画との関係

- ・県政全体の戦略的・重点的な羅針盤である「新しい政策の指針」の環境分野の計画として、環境政策の全体像を提示する。
- ・環境政策における戦略的・重点的な施策展開の方角性を提示し、具体的な施策・事業の推進については環境に関する個別計画に委ねる。

【計画の期間】

長期的目標は、現在の計画を踏襲し2025年頃とするが、施策展開の目標は、現計画策定時から5年を経過していること等から、2015年とする。

3 計画の推進について

個別計画の進行管理のために設置されている推進組織等との連携強化や県内各地における様々な団体との意見交換などを行い、環境基本計画を幅広い人々に普及広報していく必要がある。

点検

社会経済動向の変化及び新たな環境保全上の課題(平成14年9月～)

【愛知万博の開催】

愛知万博は環境技術の進展、市民参加の広がり等大きな成果をこの地域にもたらした。

【環境意識の向上】

“LOHAS”、“もったいない”などの意識の広がり、原油価格高騰による省エネ意識の高まり、環境対応が企業の社会的責任や競争力に位置づけられるなど、県民、事業者の環境意識が高まっている。

【環境問題の深刻化】

京都議定書の発効による温室効果ガスの削減を始め、東アジアの経済発展等を背景としたエネルギー需給のひっ迫、黄砂、大気や海域の汚染、漂着ごみなど国境を越える環境影響等、グローバルな環境問題が深刻化している。

【安心、安全への関心の増大】

東海地震を原因とする環境への影響やアスベスト、フェロシルト、PCB問題など日々の生活を脅かすおそれのある事柄が生じている。

新しい環境基本計画の策定へ